



若手の会 Web 勉強会 イブニングトーク

委員長 庄司 博人 (大阪大学)

Report of the WELNET online group seminar (Evening talking)

by SHOJI Hiroto

溶接学会 若手会員の会 (若手の会) では、若手会員同士の交流・情報共有のための活動を行っています。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、春季全国大会が中止、秋季全国大会はオンライン開催となるなど、対面での交流が難しい状況になりました。そこで、若手の会でもオンライン会議ツールを利用した Web 勉強会を企画しており、7月に第1回の Web 勉強会を開催いたしました。

一方、溶接学会の活動を一般市民や中高大学生に対して紹介する、いわゆるアウトリーチ活動について、溶接学会企画委員会から連携して進めていくことが提案されました。これを受けて、9月の第63回若手会員の会運営委員会(Web開催)において議論を行いました。限られた時間の中で議論を深めることが難しいこともあり、Web 勉強会 イブニングトークとして今後の活動方針を議論する場を設けることにいたしました。

若手の会 Web 勉強会 イブニングトーク

「若手の会のアウトリーチ活動について」

日時：2020年11月16日(月)19:00~

方法：Cisco Webex Meeting による Web 会議

対象：溶接学会若手会員の会運営委員

議題：YouTube 活動、ホームページの活用・更新など

議題の性質上、会議というよりは懇親会に近い雰囲気、ざっくばらんに議論する会にいたしました。まずは YouTube 等の動画コンテンツの作成について、大学見学レポートや工場見学レポートなどの案がありました。工場見学については、企業のご協力が必要になりますが、何か企業にとってのメリット(例えば溶接技術者を目指す優秀な志望者を得るためなど)を強調することができればご協力が得られやすいのではという意見が出ました。他のコンテン

ツとして、「溶接やってみた」動画として若手会員が自前で溶接をしてみたり、一般向けの溶接体験アクティビティに参加してレポートしてみたりするという案も出ました。このような動画コンテンツは、撮影や編集に時間や費用を要するため、なかなかすぐに取り掛かるのは難しいのではという意見もありました。既存のチャンネルとのコラボを持ちかけるという案もありましたが、こちらも費用面が心配という意見がありました。

動画コンテンツ以外には、Twitter 等の SNS での情報拡散や交流(他学会の若手の会でも行っている事例あり)や、情報発信のプラットフォームとして若手の会のホームページを強化・更新するなどの案が出ました。いずれにしても、個々の活動についてターゲットをはっきりさせることが重要であるという意見がありました。例えば、一般市民へのアウトリーチなのか、高校生や大学生に対して溶接・接合分野への興味を持ってもらうような活動をするのか、あるいは溶接技術者・技能者を増やしたいのか、溶接・接合に関する研究者を増やしたいのか、などが考えられますが、ターゲットによって活動内容が変わってくるのではないかとことです。それについて、次世代の若手会員として今後も活躍してもらいたいという意味で、まずは大学生・大学院生からアプローチしていくのはどうかという意見がありました。それに対し、直近はそれでも良いが、そこから裾野をいかに広げていくかというところを認識しておくことが重要ではという意見もありました。

以上のように、様々な案や意見が出され、イブニングトークとしては非常に盛り上がりましたが、まだまだ継続して議論を重ねてアウトリーチ活動の方針を決めていきたいと考えております。「こういう活動をしてほしい」「こういうところを紹介してほしい」など、読者の皆様からも意見を募集中です!どうぞよろしくお願いたします。